

## 2023 年度 第 4 回企画環境委員会 議事録

■日時 令和6年3月1日(金) 15時00分～17時00分

■場所 よつば総合法律事務所 会議室

■出席者

委員長：五木田 厚(千葉支部)

出席：副委員長：石岡 邦彦(市原支部)・秋山 隆(北総支部)

飯田 利治(東葛支部)・相川 幸雄(木更津支部)・田中 栄治(茂原支部)

東條 史(京葉支部)・辰野 方哉(安房支部)・青野 貴之(銚子支部)

### 小口会長挨拶

・正月に能登で大規模な地震があった。保険金の支払いは代理店が動かないとスムーズに保険金支払いが出来ないので、企画環境委員のジギョケイやBCPを多くの代理店で採用して頂くようお願いしたい。義援金に関して、新潟・富山代協は辞退。企画環境委員は価値向上策を重点に置いた施策なので今後も引き続きジギョケイの推進をお願いしたい。

### 企画環境委員長挨拶

・千葉県代協が目標とする3冠王(ぼうさい探検・仲間づくり・コンサルティングコース)から企画環境委員のジギョケイ・BCP・社労士認証は除外されるが、代理店の価値向上策なので今まで通り推進して頂きたい。

### 議 事

#### 1. 日本代協企画環境委員会報告

- ・2月19日Web・1月16日に開催。来期の企画環境委員会の方針は今期とほぼ同じで、不公正募集・特定修理事業者の報告と代理店の価値向上策の推進。
- ・東関東ブロックでは来期、茨城代協の武井氏が代表として委員会に出席する。

#### 2. 各支部役員より不公正募集・特定修理業者の報告

・報告事項が日本代協の報告でも少なくなってきた。ディーラーで販売しているスモールリペアを提案され保険を変えられてしまうケースがあり、特別の利益の提供に当たらないかとの問いに、過去に千葉県代協でもスモールリペアを販売していたが数年で終了してしまった。制度としては金融庁が問題ないとの見解を出したので問題なし。

- ・東條氏の情報で、少額短期保険で免責をカバーをする保険がある。月 1,500 円
- ・火災保険の風災免責で、住宅金融公庫の満期で各社の見積りで、築年数が 15 年以上でも免責が 0 円の保険会社がある。また、太陽光発電事業者の火災保険の引き受けに規制があり、免責が 100 万の保険会社があり、事実引き受けが困難になっている。
- ・岐阜代協が作成したディーラー・中古自動車販売店向けに注意喚起文書を作成したので、岐阜代協企画環境委員長に千葉代協での使用許可を頂いた。三役会で、ディーラー等ではなく千葉県自動車販売店協会へ送る提案があり、今後推進していきたい。
- ・自動車保険の 3 年契約に関して、M S 社だけが事故の翌年に保険料が上がるとの事で、他の保険会社は事故があった場合、3 年後に保険料が上がるとの情報をがかった。
- ・企業や官公庁を退職しても団体割引を使えるのか？の意見で、企業によっては OB でも団体割引が可能との事。完全退職だと団体割引は不可なので確認が難しい。
- ・ソニー損保の火災保険で、地震保険の上乗せ CM をしているが、地震火災費用保険ではないのか？との質問で、HP で確認したところ火災費用保険ではなく地震保険同等の補償であった。東京海上日動も同等の特約あり。

### 3.代理店の価値向上策の推進

ジギョケイは各支部でセミナーを開いて成果が出てる。全国の同じような状況で、三井住友海上あいおい生命社の協力で登録代理店が増えた。今後も支部でセミナーを開催するのであれば声をかけて頂きたい。

- ・事業継続強化計画（ジギョケイ）および BCP の作成推進・社労士診断認証制度の推進・リスクマネジメント講座の取組推進・JSA-S1003 の推進が来期の企画環境委員会の方針。

今後は社労士診断・リスマネ・JSA-S の内容を理解するようお願いした。

### 意見交換会

企画環境委員会終了後、甘太郎 千葉センシティブル店にて、委員 8 名と三井住友海上あいおい生命牛尾支社長と意見交換会を行った。来期の委員は銚子支部以外ほぼ同じメンバー。

### 連絡事項

- ・4 月 9 日に日本代協企画環境委員会が開催。
- 県代協総会後に開催予定。改めて日程の連絡を致します。

議事録作成人 : 五木田 厚